

戸田市教育大綱

■はじめに

人づくりはまちづくりの礎であり、私は市長就任以来、常に教育に重点を置き市政を担ってまいりました。

全国的に急激な少子化が進む中、本市においても年々出生数が減少し、学校や地域コミュニティなど、こどもたちを取り巻く環境が大きく変わりつつあります。「戸田市で子育てがしたい、戸田市で成長していきたい」、多くの人たちにそう思っていただくためにも、社会の変化や世の中のニーズに的確に対応した教育施策の重要性を改めて深く認識しているところです。

社会情勢が複雑化し、不確実性が高まる中であっても、私たちは世界にしっかりと目を向け、こども一人ひとりの個性を大切にしながら、自己肯定感を育み、将来、国際社会においても主体的に活躍できる人材の育成を支えていく責務があります。また、AIをはじめとする技術が急速に進展する時代だからこそ、人間性や他者を思いやる心を大切にし、どのような状況にあっても自ら考え、困難を乗り越えていく力を育むことが、これまで以上に求められています。

この時代の変化は、課題だけでなく未来への大きな可能性も示しています。技術の進歩により、いつでも、どこでも、誰とでもつながることができる社会が実現し、こどもたちの将来の選択肢は、自らの意志と行動によって大きく広げることができる時代となりました。さらに、令和5年4月に施行された「こども基本法」により、全てのこどもや若者が将来にわたって幸福に暮らせる社会の実現に向け、社会全体でこどもたちを支え、後押ししていく機運が一層高まっています。

一方、人生100年時代を迎え、世代を問わず誰もが文化・芸術・スポーツなどの活動を通じて自己を磨き、生涯にわたって学ぶ喜びを分かち合える、自己実現の機会と活気に満ちた地域社会づくりが求められています。

前大綱策定から5年が経過し、こうした時代の潮流や社会状況を踏まえ、このたび戸田市では、教育大綱を改訂いたしました。教育現場において質の高い教育が着実に実践されること、そして、その基盤となる環境を行政が責任をもって整備すること—この二つが相互に連携し、効果的に機能するための指針として、本大綱が重要な役割を果たすものと考えております。

新たな大綱では、前大綱の基本的な考え方を踏襲しつつ、こどもたちの意見も踏まえ、基本方針として『共に「はぐくみ まもり むすぶ」教育のまち 戸田』を掲げ、3つの柱に基づく6つの重点目標を定めました。

■基本方針の実現に向けて

この戸田市教育大綱は、市政運営の最も基本となる計画である「戸田市第5次総合振興計画」の将来都市像「『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ」及び、基本目標Ⅰ「こどもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち」基本目標Ⅱ「創造性や豊かな心を育むまち」を受けたものとなっています。

また、このたび策定した「第5次戸田市教育振興計画」では、これまで数多くの成果を上げてきた本市の教育改革を踏まえ、「好きを育み 得意を伸ばす とだの教育」の教育理念のもと未知なる教育改革に挑むことで、「自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手」を育成することを目指し、先進的な取組を推進することとしています。

今後は、多様性と包摂の視点のもとで「誰一人取り残されない」社会の実現とESD（持続可能な開発のための教育）に取り組むことを通じて、とだっ子と全ての市民一人ひとりの人生が輝きに満ちあふれたものとなるよう、市全体でこの大綱に取り組みます。

そして、市長部局と教育委員会が認識を共有しながら、引き続き、学校・家庭・地域が相互に連携してあゆみ、教育日本一を目指してまいります。

戸田市長 菅原文仁

『共に「はぐくみまもりむすぶ」教育のまち戸田』

3つの柱・6つの重点目標

柱①

育む(はぐくむ)～supporting growth～
「こどもの成長をはぐくむ」

■深い学びを活かし自ら未来を切り拓く力を育みます

戸田型 PBL をはじめとする課題解決型の学習や STEAM 教育の基盤づくり、先進技術の活用などを通じて、グローバル化が進む社会で求められる資質・能力を主体的に学べる環境を作ります。

■ふるさと戸田を愛し社会に貢献する心を育みます

体験的な学びや、読書を通じて、戸田市の伝統や文化、自然に触れる機会を大切にするとともに、社会生活を営むうえで必要な礼儀、道徳など公共の精神を育み社会に貢献する心を育てます。

柱②

守る(まもる)～protecting opportunities～
「誰もが学ぶ機会をまもる」

■多様性を尊重し誰もが教育を受ける機会を守ります

こどもの意見反映の機会を広げ、戸田型インクルーシブ教育モデルや戸田型オルタナティブ・プランの推進、いじめ対策の充実、相談支援体制の確保により、誰一人取り残されることなく安心して学習できる機会を保障します。

■安全・安心を確保し成長を後押しできる活気ある教育環境を守ります

学校の安全対策を徹底するとともに、教育施設の計画的な整備、スポーツ・文化芸術活動の推進を通じた生涯学習機会の充実を図り、こどもから大人まですべての世代の学びたい気持ちに応える環境を整えます。

柱③

結ぶ(むすぶ)～connecting schools and communities～
「学校と地域・社会をむすぶ」

■誕生から中学校卒業まで子育て支援と教育体制を切れ目なく結びます

こどもの発達段階に応じた適切なサポート環境を整えるとともに、幼保小連携や放課後児童対策の実施、小中一貫教育の推進など、子育て支援と教育体制とのシームレスな接続に取り組みます。

■教育の現場と地域の多様な主体を双方向で結びます

コミュニティ・スクールの活性化や産学官連携の取組の推進など、地域の多様な主体を双方向で繋ぎ、学びの舞台を広げることで新たな教育環境の創出やこどもの居場所の充実を図ります。